

様式4号

契約変更の内容

事務所名：福島地方環境事務所

工 事 名	令和2年度中間貯蔵施設（大熊4工区）の受入分別処理・貯蔵工事（第3回変更）
契約変更年月日	令和5年2月10日
工事種別	土木工事
工事場所	福島県双葉郡大熊町地内
契約業者名	清水・竹中土木・東洋特定建設工事共同企業体
契約業者の住所	東京都中央区京橋二丁目16番1-10号
工期（自）	令和3年1月15日
工期（至）	令和6年3月29日
工事概要	(1) 受入・分別処理工事 1) 受入・分別処理工事 2) 解体・撤去工事 (2) 土壌貯蔵施設工事 1) 堰堤工・遮水工 2) 埋立工 3) 被覆工（キャッピング工）
契約金額	金22,775,500,000円（消費税込）
変更後の契約金額	金22,775,500,000円（消費税込）
変更理由	今回の変更契約は、受入・分別処理工事及び土壌貯蔵施設工事の計画の見直し等より、各工種の数量の変更となったため、設計変更とするもの。

様式4号

契 約 変 更 の 内 容

事務所名：福島地方環境事務所

工 事 名	令和2年度中間貯蔵施設（大熊4工区）の受入分別処理・貯蔵工事（第2回変更）
契約変更年月日	令和4年3月3日
工事種別	土木工事
工事場所	福島県双葉郡大熊町地内
契約業者名	清水・竹中土木・東洋特定建設工事共同企業体
契約業者の住所	東京都中央区京橋二丁目16番1-10号
工期（自）	令和3年1月15日
工期（至）	令和6年3月29日
工事概要	<p>(1) 受入・分別処理工事</p> <p>1) 受入・分別処理工事</p> <p>2) 解体・撤去工事</p> <p>(2) 土壌貯蔵施設工事</p> <p>1) 堰堤工・遮水工</p> <p>2) 埋立工</p> <p>3) 被覆工（キャッピング工）</p>
契約金額	金22,775,500,000円（消費税込）
変更後の契約金額	金22,775,500,000円（消費税込）
変更理由	受入・分別処理工事及び土壌貯蔵施設工事の計画の見直し及び精査等より、各工種の数量の変更となったため、設計変更とするもの。

様式4号

契約変更の内容

事務所名：福島地方環境事務所

工 事 名	令和2年度中間貯蔵施設（大熊4工区）の受入分別処理・貯蔵工事（第1回変更）
契約変更年月日	令和4年2月4日
工事種別	土木工事
工事場所	福島県双葉郡大熊町地内
契約業者名	清水・竹中土木・東洋特定建設工事共同企業体
契約業者の住所	東京都中央区京橋二丁目16番1-10号
工期（自）	令和3年1月15日
工期（至）	令和6年3月29日
工事概要	(1) 受入・分別処理工事 1) 受入・分別処理工事 2) 解体・撤去工事 (2) 土壌貯蔵施設工事 1) 堰堤工・遮水工 2) 埋立工 3) 被覆工（キャッピング工）
契約金額	金22,775,500,000円（消費税込）
変更後の契約金額	金22,775,500,000円（消費税込）
変更理由	受入・分別処理工事及び土壌貯蔵施設工事の計画の見直し及び精査等より、各工種の数量の変更。

様式3号

契約の内容

事務所名 福島地方環境事務所

工 事 名	令和2年度中間貯蔵施設（大熊4工区）の受入分別処理・貯蔵工事
契約年月日	令和3年1月14日
契約方法	随意契約
工事場所	福島県双葉郡大熊町地内
工事種別	土木工事
契約業者名	清水・竹中土木・東洋特定建設工事共同企業体
契約業者の住所	東京都中央区京橋二丁目16番1-10号
工期（自）	令和3年1月15日
工期（至）	令和6年3月29日
工事概要	(1) 受入・分別処理工事 1) 受入・分別処理工事 2) 解体・撤去工事 (2) 土壌貯蔵施設工事 1) 堰堤工・遮水工 2) 埋立工 3) 被覆工（キャッピング工）
契約金額	22,775,500,000円（消費税込）
予定価格	22,776,336,000円（消費税込）

随意契約理由書

施設名：福島地方環境事務所

工 事 名	令和 2 年度中間貯蔵施設(大熊 4 工区)の受入分別処理・貯蔵工事
契 約 業 者 名	清水・竹中土木・東洋特定建設工事共同企業体 代表者 清水建設株式会社 土木東京支店
随意契約理由	<p>中間貯蔵施設における除去土壌等の受入・分別施設は、放射性物質を含む様々な性状をした除去土壌等が大量に搬入され、それらを効率的かつ確実に処理するとともに、作業員の被ばくをできる限り低減する分別処理設備を有している必要がある。</p> <p>この特殊性に鑑み、大熊町大字夫沢地内に所在する受入・分別施設は、清水・竹中土木・東洋特定建設工事共同企業体が、「平成 30 年度中間貯蔵(大熊 4 工区)土壌貯蔵施設等工事」において独自の技術を用いて設置したものである。</p> <p>この独自の技術は「被処理物を収容したフレキシブルコンテナバッグなどの袋体を効率よく連続的に(大量に)解袋して被処理物を取り出すことを可能とする解袋装置」であり、受入・分別処理の初期の段階において不可欠な大型土嚢の破袋に関する特殊技術であり、清水建設株式会社、第一カッター興業株式会社、環テック株式会社が、平成 26 年 7 月 31 日に特許申請し、清水建設株式会社が運営する工事以外の第三者に実施許諾を行わないとするものである。</p> <p>さらに、当該施設は、発注者が定める「要求水準書」の「荷下ろし設備」、「破袋設備」、「一次分別設備」、「2 次分別設備(改質処理、分別処理)」、「濃度分別設備」の各段階の設備について、空間的制約の下で相互の特性を組み合わせることで施設全体の要求性能(140t/h)を担保している施設であり、「破袋設備」に当たる前記の特殊技術を組み替えた場合には、要求性能の実効性が担保されない。</p>